

インターネット、もっと使いやすく
BUFFALO



Home Network



家電とパソコンをつなぐ

デジタル家電の周辺機器分野へ



Home Network



Business Report 2005
メルコグループ

デジタルホーム市場に向けて、 確かな収益基盤と成長ビジョン

株式会社メルコホールディングス
代表取締役社長 **牧 誠**



デジタルホーム市場に向けて

メルコグループは、これまでパソコンの周辺機器からインターネットの活用機器へと事業領域を拡大しながら成長をしてきました。これは、技術革新によるユーザーの変化を先取りし、常に新しい提案をし続けてきた結果です。

メルコグループの中心的なブランドである「BUFFALO」はパソコンやネットワークに詳しい先進的なユーザを多くファンに持ち、その厳しい選択眼に応えられる斬新なアイデアとそれを実現する技術力によって、常に時代をリードしてきました。そしてまた、次の大きな変化が起きようとしています。

インターネットを通じた音楽や動画の配信が始まり、人々がネットワークを通じたサービスを利用することがごく身近なものになってきました。こうした使い方は、やがてホ

ームネットワークで接続されたテレビやパソコンから音楽や映像を自由に利用できるデジタルホームへと発展していきます。その過程では、新しいデジタル家電と既存の家電やパソコンが混在するホームネットワークの中でさまざまな周辺機器が必要となり、当社グループにとって新しいビジネスチャンスが数多く生まれてきます。

当社グループは、このデジタルホーム市場の形成に貢献するため、パソコンと家電の橋渡し役として、ユーザの皆様はもちろん、パソコンメーカーや家電メーカーからも必要とされる企業になることを目指しています。そして、こうした技術や社会の変化の中で「顧客ニーズへの先見性と、それを具現化する技術力」を武器に、グループの事業領域を拡大し企業価値の最大化を目指して前進してまいります。

2005年3月期は、売上高、経常利益ともに過去最高を更新

メルコグループは、常に成長のビジョンを持ち、新しい市場の育成に挑戦してきました。しかしその一方で、こうした先行投資を可能にするしっかりした収益基盤を確保することも重要であると考えています。

2005年3月期は、上半期にパソコン関連市場が停滞し、

業界全体にとって厳しい市場環境となりましたが、当社グループは、市場の活性化に向けた懸命な努力が実を結び、過去最高の売上高、営業利益、経常利益を達成しました。

フロッピーディスクに代わる新しい記憶メディアとして

USBフラッシュメモリの売上高が前年比約40%増加しました。これら超高速モデルやデザイン性を重視した製品がユーザの支持を集め、市場の拡大と当社グループのシェア向上に貢献しました。中でもディズニーの有名キャラクターを活用した製品は、女性層やファミリー層をパソコン周辺機器市場に呼込む役目も果たしました。

ホームネットワークの普及に伴い動画を利用するユーザが増加し、外付けハードディスク装置の売上高は前

年比25%以上の成長を見せました。また、2004年12月に法人市場に向けて投入したネットワークハードディスク「TeraStation」は大きなヒット製品となり、高信頼性ネットワークハードディスクとして、今後のオフィスでの記憶装置のあり方を大きく変えるポテンシャルを持っています。また、この製品は米国、英国、ドイツ、中国など各国のコンピュータ専門誌で高い評価を受け、海外でのBUFFALOブランドの確立にも貢献しました。

デジタルホームへの布石

当社グループは、デジタルホーム市場に向けて、ネットワークハードディスクレコーダシステム「Link de 録」(リンクでロック)を投入しました。これは、ホームネットワークで接続されたTVキャプチャ(放送の取り込み)、ネットワークハードディスク(録画データの保存)やメディアプレーヤ(再生)のそれぞれのコンポーネントを一体的に操作可能にするシステムで、デジタルホームの基本的な使い方を実現するものです。

また、NTT東西フレッツユーザ向けビデオ配信サービスへのセットアップボックス(専用受信機)の供給を開始し、デジタルホーム時代に向けた新しいビジネス展開がスタートしました。大手通信業者によるビデオ配信サービスの開始は本格的デジタルホーム時代がすぐ目の前に迫ってきていることを予感させます。

デジタルホームのキープロダクトである無線LAN製品では、遠隔地からのアクセスを可能にするリモートアクセスモデルや、ハイパワーモデルを投入し利用用途の拡大を図りました。また、初心者でも簡単に安全な無線LANが設定できる当社グループの「AOSS」システムが大手家電メーカーの製品への搭載やゲーム機での利用が始まり、今後のホームネットワークの普及に加速がつく

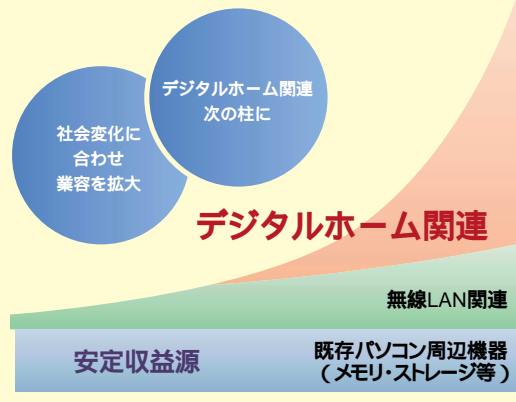
ものと期待されます。

このように、デジタルホーム形成に向けた当社グループの多方面への布石が徐々に実現してきました。

当社グループは、このデジタルホーム市場において、パソコン周辺機器のリーディングカンパニーとして培ってきた技術を活かし、新しい提案による市場の育成とその市場でのプレゼンスの確保を目指します。

事業構造のフレームワーク

インターネット	ブロードバンド	ホームネットワーク	デジタルホーム	ユビキタスネットワーク
---------	---------	-----------	---------	-------------



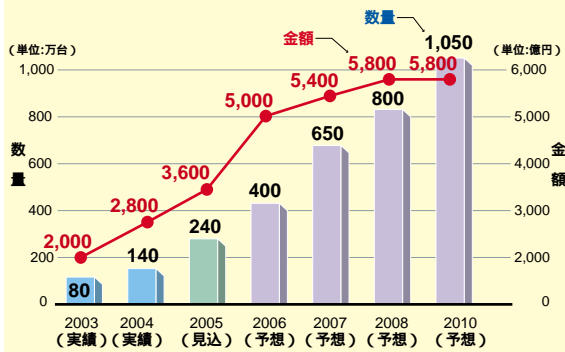
動き始めたデジタルホーム化の波

一般化し始めたデジタルホーム

デジタルホームとは、テレビやパソコンがホームネットワークで接続され、放送や録画した動画をどの部屋からも自由楽しめる環境を備えた家庭のことを言います。最近では、多くの家電やパソコン関連のメーカーがこのコンセプトを提唱しているの、耳にした方もいらっしゃると思います。

2005年に入り新聞などで「デジタルホーム」関連の記事を目にすることが多くなってきました。デジタルホームの関連商品が既に製品化あるいは発売されたとの記事もありますが、その多くは2006年頃の実用化を目指すもので、普及が本格化するの、もうすぐです。

デジタルTVの普及予測(市場規模推移)



出典:富士キメラ総研

テレビをネットワークに接続する

さて、テレビをネットワークに接続するにはどうすればよいのでしょうか。ネットワーク対応のテレビを買えば当然接続できるようになります。実は、現在販売されているデジタルテレビの多くは、ネットワークに接続するための端子が装備されています。

そのほかにも方法があります。それはメディアプレーヤーと呼ばれる周辺機器を使う方法で、これなら普通

のテレビを簡単にネットワーク対応にすることができます。しかも、ネットワークに接続するとインターネットを使うだけでなくパソコンともつながり、デジタルビデオカメラで撮影した家族のビデオをパソコンで編集して、そのまま居間の大きな画面のテレビで楽しむ、というような使い方ができるようになります。

コンポーネントという考え方

デジタルホームのもっとも重要な特徴はネットワークにあります。以前、ビデオデッキが発売されたとき、私たちは番組の放送時間にテレビの前に居なくても録画することで番組を見ることができるようになりました。つま

り「いつでも」を手に入れました。デジタルホームでは、どの部屋に居ても、パソコンの前に居ても見ることができるようになり、ついに「どこでも」を実現できるようになります。

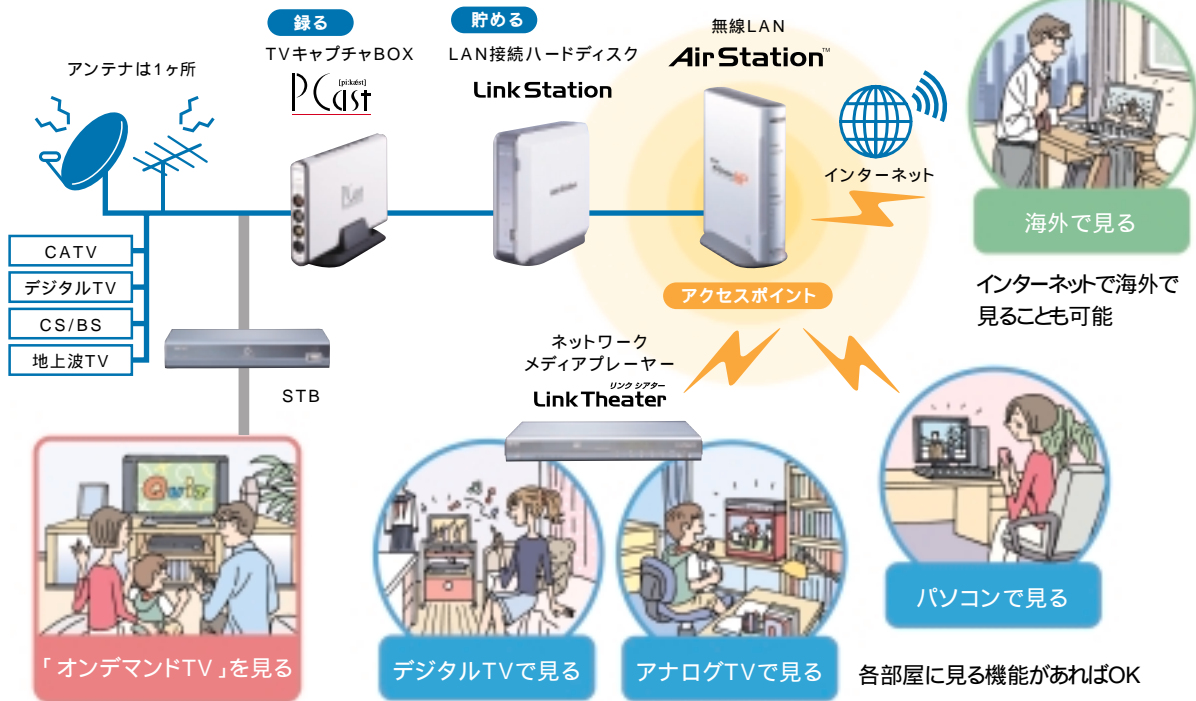
ビデオを楽しむためには、放送を取り込む機能、それを保存する機能、さらにそれを画面に映し出す(見る)機能が必要です。今迄の普通のテレビとビデオデッキの組合せでも、この3つの機能は満たしています。しかし居間のテレビで録画した番組はそこでしか見ることができませんでした。デジタルホームでは、それぞれの機能をコンポーネントとしてネットワークのどこにあってもお互いを使えるようになります。

コンポーネント化すると、保存する機能や取り込む機能はテレビアンテナのある1ヶ所にまとめ、見る機能さえ

あればどの部屋でも楽しむことができるようになります。コストの面でも機能の面でもネットワークならではの優れた考え方です。コンポーネント化をもっと発展させて考えると、見る機能はインターネット上のどこでも可能で、外出先から自宅に保存した録画を見ることも可能になります。海外に駐在や出張しているながら、日本国内の実家で録画した日本の番組を楽しんでいる方々が既に大勢いらっしゃいます。「いつでも、どこでも」動画を楽しむことができるデジタルホーム時代はもう現実のものになってきているのです。

コンポーネント化で、各種放送を共有

1つの放送ソースを複数のTV、パソコンで共有



デジタルホーム実現のステップ

デジタルホームに必要な基本的なコンポーネントはすでに発売されており、先進的なユーザは利用を始めています。ビデオ配信サービスや地上波デジタル放送が始まり、デジタルホームへのニーズが高まってくると、今後一般のユーザに普及が一挙に進むと考えられます。

デジタルホームを実現するには一度にすべてを買い揃え「家」そのものを大改造する必要はありません。先進的ユーザがこれまでしてきたように徐々に機能を追加していけばよいのです。

まずは、インターネットへの接続ですが、これはもう多くの方がパソコンで実現されていると思います。次にホームネットワークですが、これから始める方には「無線LAN」をお勧めします。壁や床を越えて接続するには配線工事のない無線LANが最適です。これでどの部

屋からもインターネットが使えるようになります。

いよいよテレビの接続ですが、これには「メディアプレーヤー」を追加します。これでパソコンで録画したものも再生が可能になります。最近のパソコンはテレビ放送の録画が可能な機種が多くなっていますが、無ければ「TVキャプチャ」を追加します。

さらに「ネットワークハードディスク」を導入すると、どの部屋からも好きな動画や音楽を呼び出して使えるようになります。これでデジタルホームの基本形の出来上がりです。後はテレビの台数や必要に応じてネットワークハードディスクやメディアプレーヤーを増設します。

このように、徐々に追加していけばそれぞれの機能も理解しやすく一度に使用するコストもわずかなので気楽に始めることができます。

パソコンと家電の橋渡し役

ところで、これまで説明してきた動画を利用するための技術やネットワークで伝送する技術、またネットワーク内にある動画を一元的に管理し簡単に利用できるための方法などは、今世界中で研究されており進化の真最中です。今後も次々と新しい技術や方法が提案されてくることになります。

これまで、パソコンの世界では、新しい技術や機能を既存のパソコンに取り入れて使うために周辺機器が活躍してきました。家電の世界でも同様に、新旧の家

電製品が混在する環境に対して、新しい機能を追加し使いやすくするための周辺機器がどんどん登場してくることになります。

メルコグループは、ネットワークとストレージ（記憶装置）やグラフィック（画像表示）のすべての技術を有する世界でも数少ない企業グループとして、豊かなネットワーク社会の形成に貢献してまいります。

メルコの原点は「ユーザニーズの具現化」 それを実践していく技術力...

世界標準規格を策定

現在、世界中で出荷されているパソコンのほとんどでDDR 型と呼ばれるメモリモジュールが使われています。これらのメモリモジュールの標準規格を策定しているJEDECで、パツファローの基板設計が世界標準規格として採用されています。現在パツファローでは、すでにノートパソコン用メモリモジュールの次の主力製品となるDDR に続いてDDR の標準規格策定を行っています。

メモリのトップブランドとして、今後も世界中のパソコンメーカーから採用される次世代メモリの世界標準規格の普及を目指します。



次世代DDR パソコン用メモリモジュール

世界標準機として無線LAN AirStationシリーズ

パツファローの無線LAN AirStation「WLI-CB-G54」は、高速無線LAN標準規格IEEE802.11gにおいて国内で初めて「Wi-Fi®」認定を受けるとともに、認証テスト機器(基準製品)として正式に採用されています。



「WLI-CB-G54」「Wi-Fi® CERTIFIED」

無線LANの接続・セキュリティ設定を自動化「AOSS™」

簡単設定システムAOSS™(AirStation One-Touch Secure System)は、初心者には難しかった無線LANの「接続設定」や「セキュリティ設定」を、対応した機器のボタンを押すだけで自動的に行える画期的な新技術です。

これにより、無線LANのユーザ層が飛躍的に拡大するとともに、セキュリティ機能の利用促進が図れます。今後デジタル家電など、パソコン以外の機器での利用も期待されます。



DDR / 「Double Data Rate」の略で、従来のSDRAMのデータ転送速度を倍速化する技術を利用したDRAMの品種。

メモリモジュール / 実際にパソコンなどでメモリを使用する際には、DRAMを基板上に配しメモリモジュールと呼ぶ部品に必要があります。DRAMの種類や信号ピンの数や形状によりたくさんの種類があります。

JEDEC / 「Joint Electron Device Engineering Council」の略で電子部品の標準化を推進する世界的業界団体。

Wi-Fi® / 無線LAN規格の標準化団体である「Wi-Fi Alliance」の公式認定を受けている無線LANの相互接続/互換性認定のマーク

快適なホームネットワークを実現する無線搭載製品を次々に発売

無線LANのトップブランドであるバッファローは、快適なホームネットワークを実現する無線LANに対応した製品を拡充しています。次世代の無線LAN技術である「MIMO」を搭載した製品をいち早く市場に投入し、家の中の電波の届きにくい場所を激減させるとともに通信速度の高速化を果たしました。また、外出先から自宅のパソコンにアクセスできるリモートアクセス機能の搭載や電波強度を極限まで強化した無線LANブロードバンドルータ「AirStationハイパワーモデル」を発売し、新しい利用方法を提案しました。

ネットワーク対応のハードディスク「LinkStation」やネットワークメディアプレーヤー「LinkTheater」に無線LAN機能を搭載したモデルを投入し、デジタルホーム時代に向けたラインアップを強化しました。

これらの製品は無線LAN簡単設定システム「AOSS™」に対応しているため接続やセキュリティの設定が自動的に行え、家庭でも簡単に安心して導入できます。



MOMO搭載MUSENLAN
ブロードバンドルータ



無線LANブロードバンドルータ



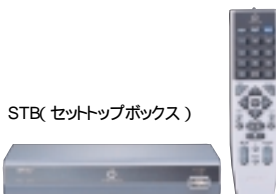
LAN接続ハードディスク



ネットワークメディアプレーヤー

NTT東西フレッツユーザ向け セットトップボックス(STB)を供給開始

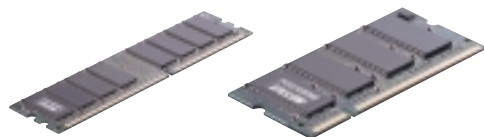
バッファローは、株式会社オン・デマンド・ティービーと協業し、NTT東西フレッツ向けユーザへ提供する映像配信サービス「オンデマンドTV」の専用受信機セットトップボックス(STB)を開発、供給を開始しました。デジタルホーム普及に向けた、大手通信キャリアを通じた新たなビジネスモデルがスタートしました。



STB(セットトップボックス)

地球環境の保護・保全に対応する取り組み

地球環境の保護・保全への取り組みが世界的に高まっています。バッファローは2001年1月に環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001を取得するとともに、グリーン購入法に基づくパソコン周辺機器を製品化しています。また、2004年6月にはEU圏における法令「RoHS指令」の鉛使用規制に適合する鉛フリーメモリモジュール47製品の発売を開始しました。当社は製品の開発・生産・サービスの各活動において環境保全に努めています。



鉛フリーメモリモジュール

大手家電メーカーによる無線LAN設定システム「AOSS™」採用が始まる

バッファローの無線LAN簡単設定システム「AOSS™」が、次々と大手家電メーカーの製品に採用され始めました。2005年4月に発売となった、SONY社の携帯型ゲーム機PSP®「プレイステーション・ポータブル」のネットワーク対戦ゲームでは、無線LAN接続が必須となり、初心者でも簡単に接続ができるよう「AOSS™」が採用されました。

優れたユーザビリティを持つ「AOSS™」は煩雑な無線LANの接続・設定を自動的に行え、初心者でも簡単に強固なセキュリティを実現する画期的な技術です。今後デジタル家電の周辺機器の担い手として、パソコン周辺機器だけでなくデジタル家電への「AOSS™」搭載を推進し、より便利で安全なネットワーク社会の発展に貢献してまいります。

SHARP ネットワークメディアプレーヤー EPSON 無線プリントアダプタ SANYO ホームビデオカメラ
SONY PSPネットワーク対戦ゲーム(反重力カーレーシングゲーム「WIPEOUT PURE」 総合競馬エンターテインメント「ダービーゲーム」)



BUFFALO製品が海外でも高い評価を獲得(大きな反響を生んだTeraStation)

バッファローの無線LAN「AirStation」や各種パソコン周辺機器製品は、日本国内のみならず海外市場においても高い評価を受けています。これまで販路開拓に努めてきた海外市場では、米国において販売チャネルの見直しと製品ラインアップの強化が成果を出し始めており、特に無線LANに続いて販売を開始したストレージ製品が好調な出足を見せています。

<p>(2005/4/12) アメリカ 媒体名:PC MAGAZINE 受賞部門:STORAGE CENTRAL 受賞名:Editor's Choice LAN接続ハードディスク TeraStation HD-H1.0TGL/R5</p>	<p>(2005/3/28) イギリス 媒体名:TrustedReviews 受賞名:EDITOR'S CHOICE LAN接続ハードディスク TeraStation HD-H1.0TGL/R5</p>	<p>(2005/3/5) スペイン 媒体名:PC Plus 受賞名:PREMIO CALIDAD/PRECIO IEEE802.11g無線LAN AirStation BroadBandルータ WBR2-G54S</p>	<p>(2005/3) ドイツ 媒体名:PCgo! 受賞名:Very good IEEE802.11g無線LAN AirStation BroadBandルータリモートアクセスモデル WZR-RS-G54</p>
<p>(2005/3/16) イギリス 媒体名:Biosmagazine 受賞名:Technical Innovation ネットワークメディアプレーヤー LinkTheater 無線LAN搭載モデル PC-P3LWG/DVD</p>	<p>(2005/3/1) イギリス 媒体名:Biosmagazine 受賞名:Editor's Choice LAN接続ハードディスク LinkStation ハイエンドモデル HD-H120LAN</p>	<p>(2005/3) ドイツ 媒体名:PC Professionell 受賞名:Editor's Choice IEEE802.11g無線LAN AirStation BroadBandルータリモートアクセスモデル WZR-RS-G54/WLI-CB-G54S</p>	<p>(2005/2/1) アメリカ 媒体名:CNET 表彰名:Review 受賞名:Editor's Choice LAN接続ハードディスク LinkStation ハイエンドモデル HD-H250LAN</p>
<p>(2005/2) ドイツ 媒体名:PCgo! 受賞名:Very good LAN接続ハードディスク LinkStation ハイエンドモデル HD-H120LAN</p>	<p>(2005/1/17) 中国 媒体名:計算機世界 COMPUTER WORLD 受賞名:年度優秀製品賞 IEEE802.11g無線LAN AirStation USB2.0KEY型アダプタ WLI-U2-KG54</p>	<p>(2005/1/15) イギリス 媒体名:TrustedReviews 受賞名:Recommended IEEE802.11g無線LAN AirStation AirStation USB2.0用KEY型アダプタ オートインストールモデル WLI-U2-KG54-AI</p>	<p>(2005/1/3) アメリカ 媒体名:PC MAGAZINE 表彰名:Product Guides 受賞部門:Wireless Networking 受賞名:EDITOR'S CHOICE IEEE802.11g無線LAN AirStation USB2.0用KEY型アダプタ オートインストールモデル WLI-U2-KG54-AI</p>
<p>(2005/1/1) アメリカ 媒体名:2005 International CES 表彰名:2005 CES Innovations 受賞部門:Home Data Networking 受賞名:Innovations 2005 Design and Engineering Showcase Award 無線LAN AirStation リモートアクセスモデル WZR-RS-G54</p>	<p>(2005/1) イギリス 媒体名:PC Pro 受賞名:Recommended IEEE802.11g無線LAN AirStation BroadBandルータ WBR2-G54S</p>	<p>(2004/8/1) シンガポール 媒体名:HARDWARE MAGAZINE 表彰名:LAB-TESTED! 受賞名:Silver AWARD LAN接続ハードディスク LinkStation ハイエンドモデル HD-H120LAN</p>	<p>(2004/5/25) 韓国 媒体名:韓国日報 受賞名:BEST PRODUCT 2004 IEEE802.11g無線LAN AirStation BroadBandルータ WBR-G54</p>

ほか多数受賞製品がございます。受賞製品は当社ホームページをご覧ください。

変化し続ける企業グループ

変化の激しい事業領域

メルコグループのコアビジネスは、パソコンやインターネットに関連する変化の激しい分野を事業領域としています。今後は、デジタル家電の活用機器へとさらに事業領域を拡大し成長していきます。

これらの分野は、技術革新のスピードが速く世界中で次々と新しい要素技術が開発されます。それらをいち早く取り入れ、独自の技術やノウハウを駆使してエンドユーザの必要とする製

品を開発していきます。

そこには、最先端の技術に関する研究や世界中の部品メーカーとの連携が必要なだけでなく、ユーザニーズに対する先見性が重要です。新技術を単なる新技術に終わらせず、ユーザサイドの変化を見越した提案を製品に盛り込むことによって、新たなユーザニーズを喚起することにつながります。

変化への対応力を高める新体制

パソコン、インターネット、デジタル家電とメルコグループのユーザ層はどんどん拡大しユーザニーズも多様化しています。新しいユーザ層にはこれまでとは違った体系の製品群やサポートの方法、あるいは新しい販路など、今までとは違った展開が必要になってきます。そのためには、ブランドの複数化や新しい会

社も必要になってきます。

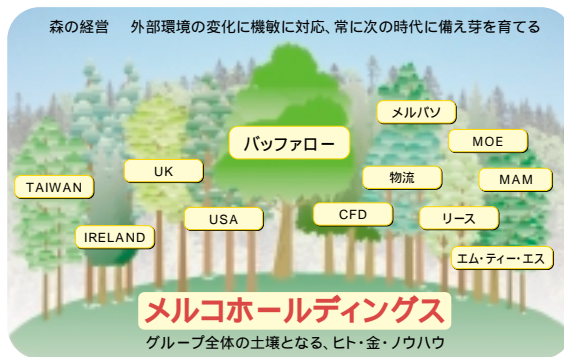
メルコグループは、2003年10月1日、持株会社体制に移行しました。今後、デジタルホーム関連分野を始めとする新事業の開拓や事業の分社化、新会社の設立、異業種との提携など、新たなグループの成長段階に進みたいと考えます。

森の経営

この純粹持株会社体制への移行の長期的な狙いは、大きな市場の変化に対し、これまで以上に迅速に対応できる経営体制を構築し、継続的な成長と収益の拡大を通じて企業価値の増大を図るグループ経営を行うことにあります。

これは、今までの単一の急成長型企業から複合的な長期成長企業群としての経営形態への移行を目指したもので、グループの経営をその生命力になぞらえ、森をイメージしたものにしていこうとします。森の木々は一つ一つ独立していますが、その集合体で森を形成しています。例えば一本が朽ち果ててもそれを補完する木々が育ち、依然として森を形作っています。このように、それぞれが小さな組織でも一タラシとしては、大きな力を柔軟に発揮できる。これがメルコグループの目指す「森の経営」であります。

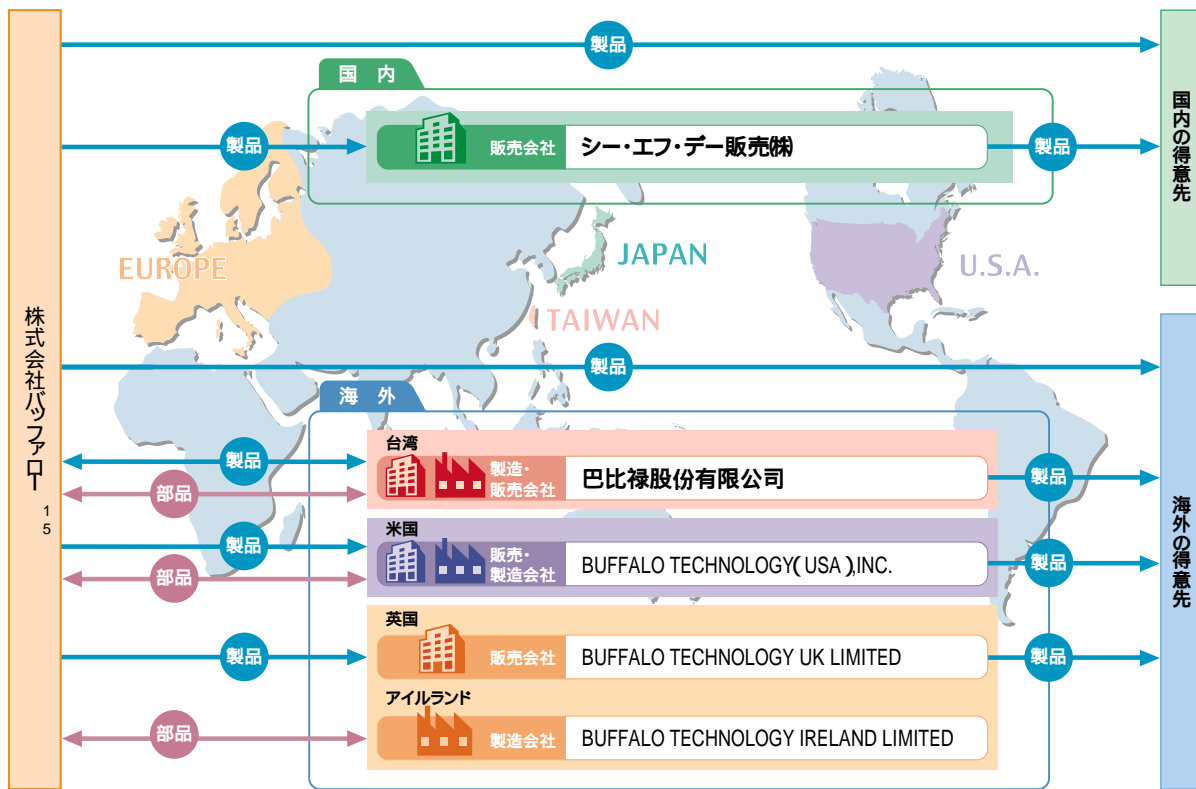
今後、メルコグループは、その存在意義を確かなものに保ち続け、何世紀にもわたり全てのステークホルダー(関係者)の皆様のために、メルコグループの存在価値を高めていくことを目指します。



メルコグループ系統図

メルコグループは㈱メルコホールディングス及び連結子会社13社により構成されています。コンピュータ周辺機器の開発・製造・販売、インターネット関連サービス及びそれに付帯する事業を行っています。

株式会社メルコホールディングス(持株会社) 1



その他の事業

インターネットゲームスポット運営
㈱メルコオンラインエンターテインメント

物流会社
㈱バッファロー物流 2

ブロードバンド関連機器のレンタル
㈱バッファローリース 2

人材派遣会社
㈱メルコパーソネルサポート 3

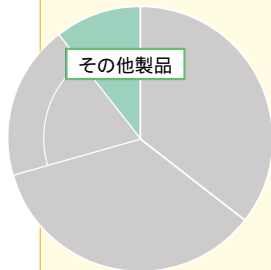
資金の運用助言
MELCO ASSET MANAGEMENT LIMITED 4

販売会社
オリブルネット㈱ 2

インターネット関連のサポート及びサービス
㈱エム・ティー・エス 6

1 ㈱メルコホールディングスと㈱バッファロー(旧社名 ㈱メルコ)は、2003年10月1日に株式交換により㈱バッファローを100%子会社とする持株会社体制に移行しました。
 2 2004年6月9日に㈱バッファロー物流、㈱バッファローリース、オリブルネット㈱は、㈱バッファローの子会社から㈱メルコホールディングスの直接出資する子会社に異動しました。
 3 2004年6月24日に㈱メルコパーソネルサポートを設立しました。
 4 2004年8月9日にMELCO ASSET MANAGEMENT LIMITEDを設立しました。
 5 2004年8月24日に㈱バッファローと㈱メルコファイナンスは合併しました。
 6 2004年12月1日に㈱エム・ティー・エスを設立しました。

デジタルホーム製品



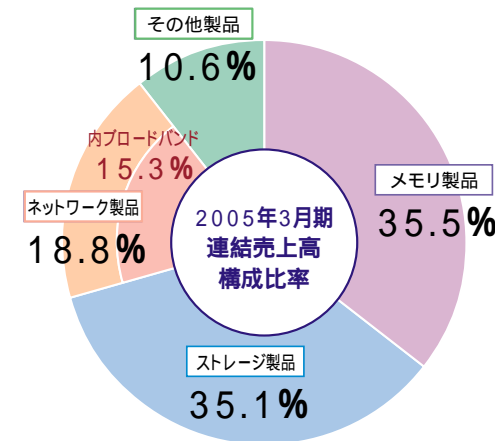
デジタルホーム市場に向けて、パソコンとテレビの橋渡しをする周辺機器を製品化しています。テレビ放送をパソコンで読み込むTVキャプチャ、パソコンの映像や音楽データをテレビで視聴できるメディアプレーヤーがあります。製品分類としては、その他製品に含まれています。デジタルホーム市場が拡大すると、ブロードバンド製品に分類される無線LANやストレージ製品に分類されるLAN接続ハードディスクの市場も拡大が見込まれます。



TVキャプチャBOX

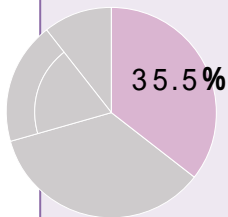


メディアプレーヤー



メモリ製品

売上高 | 377億1百万円(2005年3月期連結実績)

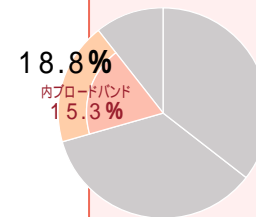


メモリはデータを記憶する装置で、パソコン内で書き込みや集計などの作業を行うスペースです。容量が大きいメモリほど作業場所が広くなり、効率良く速く処理することができます。USBフラッシュメモリは手軽にデータを持ち運びできるメモリです。デジタルカメラのフィルムとして利用されているスマートメディアやコンパクトフラッシュは、フラッシュメモリを利用した記録メディアです。



ネットワーク製品/ブロードバンド

売上高 | 199億67百万円(2005年3月期連結実績)

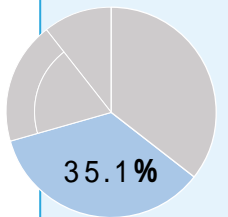


複数のパソコンをLANアダプタやハブ、ルータなどのネットワーク製品で接続すると便利な使い方ができます。1台のハードディスクを複数のパソコンで共有して、各パソコンからデータを読み出すことができます。無線LANは煩わしいケーブル配線が必要なく、無線でネットワーク接続します。ノートパソコンを自由に持ち歩いて、家中どこでもインターネットを活用することができるようになります。

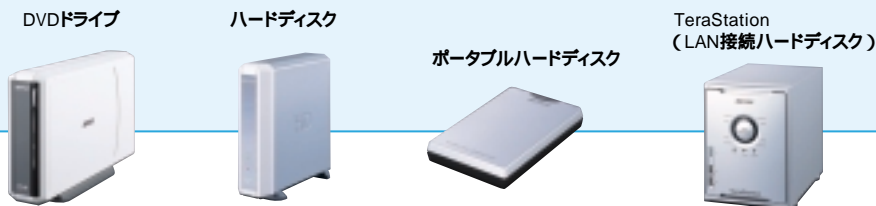


ストレージ製品

売上高 | 373億72百万円(2005年3月期連結実績)

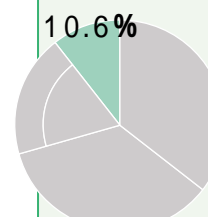


ストレージ製品はデータを保存する記憶装置です。ハードディスクはソフトウェアやデータ、画像などを保存する記憶装置で、パソコンの中に内蔵されているタイプやパソコンの横に置いて使用する外付けタイプがあります。LAN接続ハードディスクはネットワークで複数のパソコンから共有して使います。DVDIは大容量のデータを保存できる記録ディスクで、最近では映画メディアとして一般的になってきました。この他、CD-RWドライブ、MOドライブなど様々な記憶装置があります。



その他製品

売上高 | 113億12百万円(2005年3月期連結実績)



その他製品にはマルチメディア関連製品やサービス事業があります。パソコンにTVキャプチャを増設すると、テレビの視聴や録画ができるようになります。パソコンの情報を表示する液晶ディスプレイは薄型省スペース・省電力が主流となっています。サービス事業としてはバッファローサービスアライアンスを組織し、インターネットの設定サービスを行っています。



TVキャプチャBOX

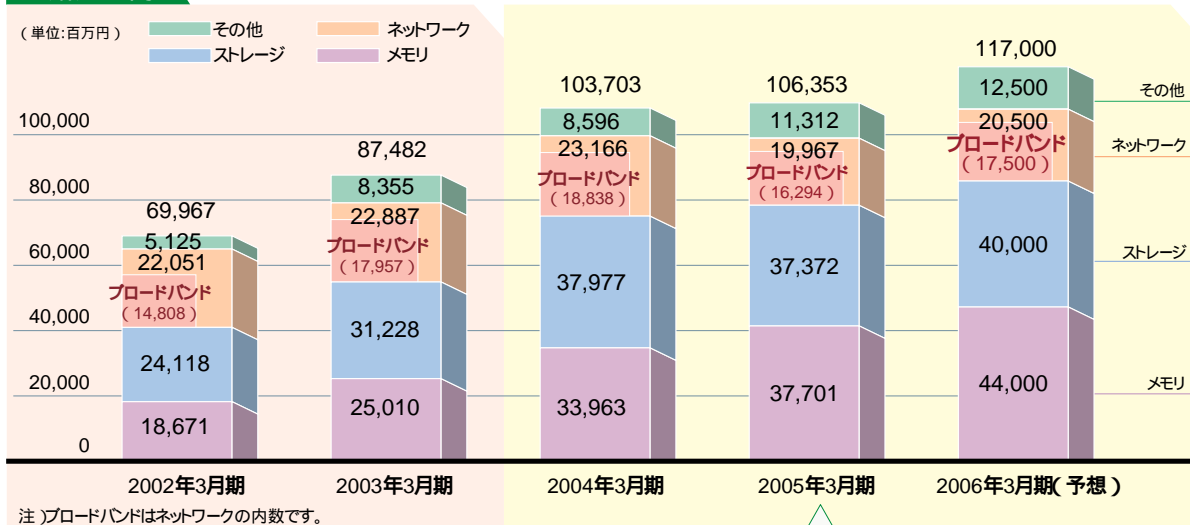


液晶ディスプレイ



連結売上高

注)2003年3月期以前については、比較のため株式会社パッパロー(旧社名 株式会社メルコ)の連結数値を記載しています。



2005年3月期 連結売上高の概況

メモリ

メモリ製品は、USBフラッシュメモリにおける積極的な製品投入と販売努力により市場の育成とシェアの拡大を果たし売上高を伸張させました。また、主力のメモリモジュールが堅調に推移したため、売上高は前連結会計年度比11.0%増の377億1百万円となりました。

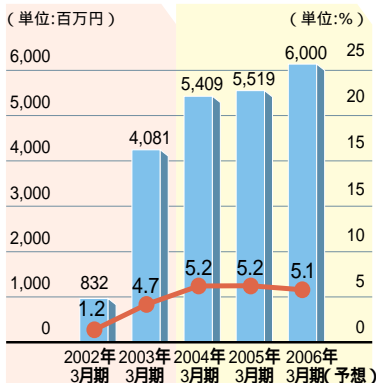
ストレージ

ストレージ製品は、動画利用増加による市場拡大の中で高い市場シェアを維持したことに加え、ネットワーク接続のハードディスクで新しいユーザーニーズを喚起することに成功しました。しかしDVDの単価ダウンとMOの市場縮小があり、売上高は前連結会計年度比1.6%減の373億72百万円となりました。

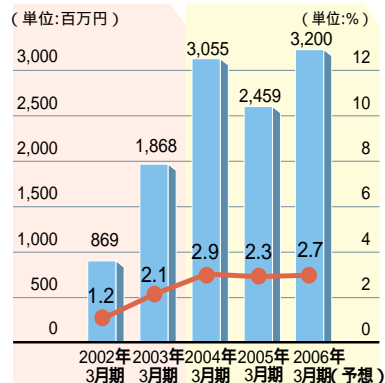
ネットワーク/ブロードバンド

ネットワーク製品の内、ブロードバンド製品では高機能・高付加価値製品の投入で利用用途の拡大を図り常に市場をリードすることができました。しかし、上半期の売上減の影響とブロードバンド以外のネットワーク製品の市場縮小があり、売上高は前連結会計年度比13.8%減の199億67百万円となりました。

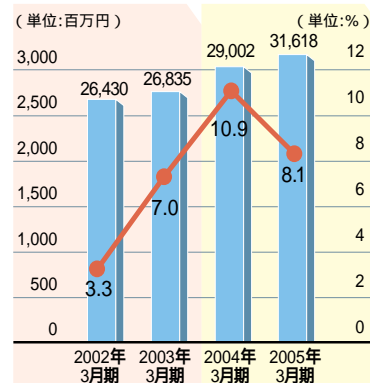
連結経常利益と連結売上高経常利益率



連結当期純利益と連結売上高当期純利益率



連結株主資本と連結株主資本当期純利益率



(株)メルコホールディングスと(株)バッファローは2003年10月1日に株式交換により、(株)バッファローを100%子会社とする持株会社体制に移行しました。2004年3月期の連結業績は(株)バッファローの連結業績(2003年4月1日～2004年3月31日)に、(株)メルコホールディングスの株式交換後から2004年3月期末(2003年10月1日～2004年3月31日)までの単独業績を加え算定しています。2003年3月期以前については、比較のため(株)バッファロー(旧社名 (株)メルコ)の連結数値を記載しています。

連結貸借対照表 (単位:百万円)

科目	期別	
	当期 2005年3月31日	前期 2004年3月31日
(資産の部)		
流動資産	46,826	37,390
固定資産	8,407	11,753
有形固定資産	1,640	2,015
無形固定資産	76	92
投資その他の資産	6,690	9,645
資産合計	55,233	49,143
(負債の部)		
流動負債	22,684	19,330
固定負債	928	808
負債合計	23,613	20,139
(少数株主持分)	2	1
(資本の部)		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	11,677	11,677
利益剰余金	18,834	16,849
其他有価証券評価差額金	364	236
為替換算調整勘定	255	287
自己株式	2	0
資本合計	31,618	29,002
負債・少数株主持分及び資本合計	55,233	49,143

連結剰余金計算書 (単位:百万円)

科目	期別	
	当期 自2004年4月1日 至2005年3月31日	前期 自2003年4月1日 至2004年3月31日
資本剰余金期首残高	11,677	7,593
資本剰余金増加高/株式交換	-	5,333
資本剰余金減少高/自己株式消却額他	0	1,249
資本剰余金期末残高	11,677	11,677
利益剰余金期首残高	16,849	14,260
利益剰余金増加高/当期純利益	2,459	3,055
利益剰余金減少高/配当金他	474	466
利益剰余金期末残高	18,834	16,849

連結損益計算書 (単位:百万円)

科目	期別	
	当期 自2004年4月1日 至2005年3月31日	前期 自2003年4月1日 至2004年3月31日
売上高	106,353	103,703
売上原価	91,563	89,886
販売費及び一般管理費	9,266	8,589
営業利益	5,523	5,228
営業外収益	247	367
営業外費用	251	186
経常利益	5,519	5,409
特別利益	77	-
特別損失	781	1,262
税金等調整前当期純利益	4,815	4,147
法人税、住民税及び事業税	2,384	1,254
法人税等調整額	31	161
少数株主利益又は少数株主損失()	2	1
当期純利益	2,459	3,055

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

科目	期別	
	当期 自2004年4月1日 至2005年3月31日	前期 自2003年4月1日 至2004年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,564	3,586
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,898	260
財務活動によるキャッシュ・フロー	422	512
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	53
現金及び現金同等物の増減額	9,042	3,280
現金及び現金同等物の期首残高	9,035	5,746
新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高	4	8
現金及び現金同等物の期末残高	18,082	9,035

メルコグループは持株会社である株式会社メルコホールディングス及び連結子会社13社で構成されています。

株式会社メルコホールディングス

2005年3月31日現在

会社概要			
商号	株式会社メルコホールディングス	英文社名	MELCO HOLDINGS INC.
設立	1986年(昭和61年)7月1日		
代表者	代表取締役社長 牧 誠	資本金	10億円
売上高	連結 1,063億53百万円 (2005年3月期実績)		
事業内容	メルコグループの純粋持株会社 各種事業を営む会社の株式を所有し、事業活動の支援、経営指導を通じ統括管理する		
従業員数	24名、メルコグループ連結 679名	グループ企業	会社数 13社(国内 8社、海外 5社)
取引銀行	UFJ、名古屋	U R L	http://melco-hd.jp/

役員		2005年6月29日現在
代表取締役社長	牧	誠
専務取締役	斉木	邦明
常務取締役	牧	博道
取締役	山口	英利
取締役	牧	廣美
取締役	津坂	巖
常勤監査役	小林	清史
監査役	西川	俊男
監査役	川島	讓
監査役	隅	朝恒

事業所

本社 〒460-0011 名古屋市中区大須四丁目11番50号 カミヤビル

TEL. 052-251-6891 FAX. 052-241-7979

株式会社バッファロー

2005年3月31日現在

会社概要			
商号	株式会社バッファロー	英文社名	BUFFALO INC.
創業	1975年(昭和50年)6月1日		
設立	1978年(昭和53年)8月5日		
代表者	代表取締役会長 牧 誠	資本金	64億円
売上高	1,012億80百万円 (2005年3月期実績)		
事業内容	パソコン及びブロードバンド 関連機器の開発・製造・販売及び 関連サービスの提供		
従業員数	353名	取引銀行	UFJ、名古屋、伊予、東京三菱、UFJ信託
U R L	http://buffalo.jp/		

役員		2005年5月13日現在
代表取締役会長	牧	誠
取締役社長	斉木	邦明
常務取締役	山口	英利
取締役	豊岡	誠史
取締役	西岡	孝行
取締役	松尾	民男
取締役	続木	政直
常勤監査役	小林	清史
監査役	津坂	巖
監査役	小出	隆志
監査役	隅	朝恒

事業所

本社	〒457-8520	名古屋市南区柴田本通四丁目15番
東京支店	〒103-0027	東京都中央区日本橋一丁目2番5号 栄太楼ビル
本社分室	〒460-0011	名古屋市中区大須四丁目11番50号 カミヤビル
名古屋支店	〒460-0011	名古屋市中区大須四丁目11番50号 カミヤビル
大阪支店	〒542-0012	大阪市中央区谷町九丁目1番18号 住友生命谷町ビル
仙台営業所	〒983-0852	仙台市宮城野区榴岡四丁目5番22号 宮城野センタービル
福岡営業所	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東三丁目12番1号 アバンダント95
札幌営業所	〒060-0031	札幌市中央区北一条東一丁目4番1号 サン経成ビル

TEL. 052-619-1811	FAX. 052-619-1800
TEL. 03-3242-7777	FAX. 03-5203-8551
TEL. 052-251-6891	FAX. 052-241-7979
TEL. 052-249-6600	FAX. 052-249-6601
TEL. 06-6191-1511	FAX. 06-6191-1510
TEL. 022-291-0311	FAX. 022-298-9470
TEL. 092-477-3711	FAX. 092-477-3755
TEL. 011-200-8150	FAX. 011-200-8151

	会社名	資本金	持株比率	事業内容
日本	シー・エフ・デー販売株式会社	98百万円	100%	インターネット関連機器及びコンピュータ周辺機器の販売
	〒457-8520 名古屋市南区柴田本通四丁目15番 TEL.052-619-1311 FAX.052-619-7785			
	株式会社バッファロー物流	70百万円	100%	製品の梱包・出荷業務
	〒456-0023 名古屋市熱田区六野二丁目1番3号 中京倉庫内33号棟 TEL.052-883-3035 FAX.052-883-3042			
	株式会社バッファローリース	98百万円	100%	インターネット関連機器のレンタル及びリース
	〒103-0027 東京都中央区日本橋一丁目2番5号 栄太楼ビル TEL.03-5203-8199 FAX.03-5203-8551			
	オリーブネット株式会社	11百万円	88.2%	インターネット関連機器及びコンピュータ周辺機器の販売
	〒456-0023 名古屋市熱田区六野二丁目1番3号 中京倉庫内 TEL.052-882-3302 FAX.052-882-3302			
	株式会社メルコオンラインエンターテインメント	10百万円	100%	インターネットゲームスポットの運営
	〒101-0021 東京都千代田区外神田三丁目14番3号 福栄秋葉原ビル TEL.03-3252-4141 FAX.03-3252-4141			
株式会社メルコパーソナルサポート	10百万円	100%	人材派遣事業	
〒460-0011 名古屋市中区大須四丁目11番50号 カミヤビル TEL.052-251-6823 FAX.052-241-7979				
株式会社エム・ティー・エス	10百万円	100%	インターネット関連のサポート及びサービス	
〒457-8520 名古屋市南区柴田本通四丁目15番 TEL.052-619-7756 FAX.052-619-7737				

	会社名	資本金	持株比率	事業内容
アジア	巴比祿股份有限公司	100百万台湾ドル	100%	インターネット関連機器及びコンピュータ周辺機器の製造、販売
	4F, NO.18, LANE609, SEC.5, CHUNG HSIN RD., SANCHUNG CITY, TAIPEI HSIEN, TAIWAN TEL.886-2-2999-9860 FAX.886-2-2999-2264			
米国	BUFFALO TECHNOLOGY (USA), INC.	3米ドル	100%	インターネット関連機器及びコンピュータ周辺機器の販売、製造
	4030 West Braker Lane, Suite 120, Austin, TEXAS 78759-5319 U.S.A. TEL.1-512-794-8533 FAX.1-512-794-8520			
欧州	BUFFALO TECHNOLOGY UK LIMITED	5,728千米ドル	100%	インターネット関連機器及びコンピュータ周辺機器の販売
	176 Buckingham Avenue, Slough, Berkshire SL1 4RD, United Kingdom TEL.44-1753-555-000 FAX.44-1753-535-420			
	BUFFALO TECHNOLOGY IRELAND LIMITED	790千ユーロ	100%	インターネット関連機器及びコンピュータ周辺機器の製造
	East Park, Shannon Free Zone, Shannon, Co.Clare, Ireland TEL.353-61-708090 FAX.353-61-360140			
	MELCO ASSET MANAGEMENT LIMITED	10万ユーロ	100%	資金の運用助言
East Park, Shannon Free Zone, Shannon, Co. Clare, Ireland TEL.353-61-708032 FAX.353-61-360140				

▶メルコグループの歩み

沿革		事業/その他	
音響機器製品の製造・販売を目的としてメルコを設立	8月	1978	8月 糸ドライブプレイヤーを発売
		1981	7月 パソコン周辺機器市場へ本格参入
		1982	11月 プリント内蔵型のプリンタバッファを発売
名古屋市天白区に(有)バッファロー(現(株)メルコホールディングス)を設立	7月	1986	
		1988	10月 わが国初のEMSボードを発売
梱包・物流業務を独立し、(株)バッファロー物流を設立	9月	1990	
(株)メルコ(現(株)バッファロー)が日本証券業協会へ店頭登録	10月	1991	
(株)メルコが(株)メルコインターナショナル(現(株)バッファローリース)を設立	10月		
(株)メルコが名古屋市内南区に技術開発拠点としてハイテクセンター(現(株)バッファロー本社)を開設	1月	1992	7月 CPUアクセラレータを発売
台湾連絡事務所を現地法人化し、巴比禄股份有限公司を設立	6月		8月 LANを発売
		1993	5月 ウィンドウ・アクセラレータを発売 マルチメディア分野へ本格参入
		1994	10月 PCBテクノロジ・アワードで最優秀賞を受賞
		1995	2月 ハードディスクを発売/パソコン周辺機器の総合メーカーへ
(株)メルコが名古屋証券取引所市場第二部に株式を上場	1月	1995	9月 (株)メルコが品質保証の国際規格ISO9001の認証を取得
(株)メルコが東京証券取引所市場第二部に株式を上場	8月		11月 DOS/Vコンポーネント/パソコンを発売 パソコンコンポーネントメーカーへ
(株)メルコが東京証券取引所、名古屋証券取引所市場第一部に株式を上場	9月	1996	10月 液晶ディスプレイを発売
(株)メルコが近畿システムサービス(株)現シー・エフ・デー販売(株)を子会社化	10月		
(株)メルコが事業部制を導入	10月	1997	
(株)メルコがTechWorks(Delaware), Inc.	1月	1998	
(現BUFFALO TECHNOLOGY(USA), INC.)を子会社化			
(株)メルコがTechWorks(UK)Limited	12月		
(現BUFFALO TECHNOLOGY UK LIMITED)を子会社化			
(株)メルコがTechWorks(Ireland)Limited			
(現BUFFALO TECHNOLOGY IRELAND LIMITED)を子会社化			
(株)メルコファイナンスが有価証券の運用業務を開始	8月	1999	1月 無線LAN市場に参入 「AIRCONNECT」を発売
(有)バッファローが株式会社に組織変更	10月		11月 Rambus対応メモリを発売
		2000	4月 無線LAN「AirStation」を発売
			10月 DDR対応ノートパソコン用メモリの世界標準規格を開発
(株)メルコがサービス組織/バッファローサービスアライアンスを結成	1月	2001	1月 インターネットのサービス事業を開始
リユース事業の合併会社デジタルリユース(株)を設立	3月		1月 (株)メルコが環境マネジメントシステムISO14001の認証を取得
販売会社オリーブネット(株)を設立	5月	2002	7月 インターネット無線スポットサービスを推進する「FREESPOT」を開始
			12月 LAN接続ハードディスク「LinkStation」を発売
(株)バッファローリースがブロードバンド関連機器のレンタル事業を開始	3月	2003	3月 ブロードバンド関連機器のレンタル事業開始
(株)バッファローが(株)メルコホールディングスに商号変更、名古屋市中区に本店を移転	5月		12月 サービス組織「BSAレディース設定サービス」を結成
(株)メルコが(株)バッファローに社名変更、名古屋市内南区に本店を移転	10月		
(株)メルコホールディングスと(株)バッファローが株式交換、持株会社体制に移行	10月		
(株)メルコホールディングスが東京証券取引所、名古屋証券取引所市場第一部に株式を上場	10月		
(株)メルコオンラインエンターテインメントを設立	10月		
シー・エフ・デー販売(株) 巴比禄股份有限公司、BUFFALO TECHNOLOGY (USA), INC.、BUFFALO TECHNOLOGY UK LIMITED、BUFFALO TECHNOLOGY IRELAND LIMITED、の5社を、(株)バッファローの子会社から(株)メルコホールディングスの直接出資する子会社に異動	3月	2004	1月 デジタルホームソリューションズ事業部を新設
(株)バッファロー物流、(株)バッファローリース、オリーブネット(株)の3社を、(株)バッファローの子会社から(株)メルコホールディングスの直接出資する子会社に異動	6月		2月 ネットワークメディアプレーヤー「LinkTheater」を発売
人材派遣会社として(株)メルコパーソナルサポートを設立	6月		4月 無線LAN「AirStation」が累計出荷500万台を達成
資金運用助言会社としてMELCO ASSET MANAGEMENT LIMITEDを設立	8月		7月 パソコンサプライ事業に参入
(株)メルコファイナンス(株)バッファローに合併			9月 無線スポットサービス「FREESPOT」が登録2000箇所を突破
(株)エム・ティー・エスを設立	12月		

Investor Information

社名の由来

メルコグループは2003年10月1日に株式会社メルコホールディングスを純粋持株会社とする持株会社体制に移行しました。同時に株式会社メルコは社名とブランドを統一するために、株式会社バッファローに社名変更しました。ユーザの皆様にも名付けられ、育てられた「BUFFALO」というブランドを事業会社の社名としました。

MELCO

「メルコ」は「牧技術研究所」を意味しています。

MELCO
Maki
Engineering
Laboratory
Company

アルファベットで表す「MELCO」のMは創業者で株式会社メルコホールディングス代表取締役社長 牧 誠(まき まこと)の姓である「Maki」、Eは技術力の「Engineering」、Lは研究所の「Laboratory」、COは会社の「Company」の頭文字をとり、創業の1975年に会社名としています。

BUFFALO

「バッファロー」はパソコン周辺機器「プリンタバッファ」に由来しています。

BUFFALO

昔のプリンタは印刷中はパソコンが使えず、印刷終了まで待たなければならぬ不便さがありました。プリンタバッファは印刷指示をいったんメモリに蓄えてパソコンを即座に開放するため、印刷中でもパソコンを使用できる画期的な製品です。メルコが1982年に発売した内蔵型プリンタバッファは市場のニーズに応え大ヒット製品となり、パソコン業界へ本格的に進出する試金石となりました。そこで新製品を

発売するにあたり商品名を一般公募し、採用されたのが「BUFFALO」です。プリンタバッファを動物の「バッファロー」になぞらえ、製品との語呂合わせの面白さとバッファローが力強く駆けるイメージが当社の躍進するイメージにぴったりなため製品ブランドとして採用しました。その後、使いやすさを提案するソリューション企業としてBUFFALOブランドを育ててきました。

メルコホールディングス株式情報(2005年3月31日現在)

決算期日	3月31日	名義書換代理人	UFJ信託銀行株式会社
定時株主総会	6月		東京都千代田区丸の内一丁目4番3号
株主確定基準日	議決権行使株主 3月31日	同事務取扱所	UFJ信託銀行株式会社証券代行部
	期末配当金受領株主 3月31日		東京都江東区東砂七丁目10番11号 〒137-8081
	中間配当金受領株主 9月30日		TEL 0120-232-711(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所第一部、 名古屋証券取引所第一部		株式関係の手続き用紙のご請求は次の UFJ信託銀行の電話及びインターネット でも24時間承っています。
証券コード	6676		TEL 0120-244-479(通話料無料)
発行済株式数	26,125,773株		http://www.ufjtrustbank.co.jp/
株主数	13,682名	幹事証券会社	(主)大和証券SMBC
1単元の株式数	100株		(副)野村證券
公告掲載新聞	日本経済新聞		みずほインベスターズ証券 日興コーディアル証券

インターネットによる情報提供...<http://melco-hd.jp/>

貸借対照表及び損益計算書...<http://melco-hd.jp/koukoku/>

メルコグループ

<http://melco-hd.jp/>

「愛・地球博」 SOLAR飛行船SoLan

バッファローは2005年3月から9月に開催される国際博覧会「愛・地球博」において、期間中会場上空に係留した中部大学のソーラー飛行船に無線LANを搭載し、大会期間中(3月25日~9月25日)、万博来場者向けにFREESPOTサービスを提供しています。これは、太陽光発電を利用しており、愛知万博のテーマにふさわしい環境配慮型の通信システムです。また、将来の災害時緊急通信システムへの発展を目指した実験もかねています。



株式会社メルコホールディングスと株式会社バッファロー(旧社名 株式会社メルコ)は、2003年10月1日に株式交換により株式会社バッファローを100%子会社とする持株会社体制に移行しました。また、同時に株式会社メルコは株式会社バッファローに社名変更しております。

株式会社 **メルコホールディングス** <http://melco-hd.jp/> (証券コード6676)

本 社 〒460-0011 名古屋市中区大須四丁目11番50号(カミヤビル) TEL. 052-251-6891(代) FAX. 052-241-7979

株式会社 **バッファロー** (旧社名 株式会社メルコ) <http://buffalo.jp/>

本 社 〒457-8520 名古屋市中区柴田本通四丁目15番 TEL. 052-619-1811(代) FAX. 052-619-1800

東 京 支 店 〒103-0027 東京都中央区日本橋一丁目2番5号(栄大樓ビル) TEL. 03-3242-7777(代) FAX. 03-5203-8551

本 社 分 室 〒460-0011 名古屋市中区大須四丁目11番50号(カミヤビル) TEL. 052-251-6891(代) FAX. 052-241-7979

国内

シー・エフ・デー販売株式会社

株式会社バッファロー物流

株式会社バッファローリース

オリーブネット株式会社

株式会社メルコオンラインエンターテインメント

株式会社メルコパーソナルサポート

株式会社エム・ティー・エス

海外

巴比祿股份有限公司(台湾)

BUFFALO TECHNOLOGY (USA), INC.(米国)

BUFFALO TECHNOLOGY UK LIMITED(英国)

BUFFALO TECHNOLOGY IRELAND LIMITED(アイルランド)

MELCO ASSET MANAGEMENT LIMITED(アイルランド)